

12月にSGH特別講座を実施しました。

SGH特別講座 ～日本の国際貢献・国際理解、人権を考える～

平成29年12月7日（木） 15:40～17:00 時習館高校 視聴覚教室

《目的》

授業後の時間を利用し、講師による講話を聞き、ディスカッションを行うことで、課題研究テーマへの興味・関心を喚起し、課題研究テーマの5分野の中で、特に「日本の国際貢献・国際理解」について理解の深化をめざす。

《講師》 伊藤菜々美 氏

* 高校時代、学校の英語の教科書をきっかけにフリー・ザ・チルドレンと出会い、インドやフィリピンの支援事業にかかわる。演劇経験を活かして、児童労働や紛争問題など世界の現状を伝える劇の脚本・演出などを行う。大学では国際政治学／平和構築を専攻し、途上国を中心に約30か国訪問。大学卒業後、一般企業勤務を経て、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンに入職。カナダにある同団体本部でも、ファシリテーター研修を受講、実践、スキルを習得し、以後、子ども向けに楽しく世界を知るワークショップや講演会を行っている。



《演題》「世界の子ども達の人権」

最初に、途上国に生きる子ども達の現状について、様々なデータや体験談を交えてお話しいただいた。その後、カードゲームを通じて途上国の子ども達の人生を疑似体験し、途上国における貧困や児童労働の深刻さや、子ども達が教育を受けること、そして自立することの難しさを知り、これらの問題についてグループで解決策を議論した。最後に、好きなことを使って社会問題に楽しく取り組むこと、また問題について「調べる、知る、伝える」ことの大切さをお話しいただいた。

[参加生徒の感想]

カードゲームを通じて、途上国の子ども達が抱えている「現状を変えたくてもどうにもできないもどかしさ」、「自立することの難しさ」を実感した。

好きなこと×社会問題で世界は変えられる（gift + issue = change）という考えがとても印象的で、自分でも実行できそうだと思った。

調べる、知る、伝えることの大切さを学んだ。この問題を遠い世界のこととして考えずに、自分にもできる身近なことから始めたい。



カードゲームから児童労働の問題についてグループで議論する様子

グループでの議論を通じて、気づいた点を発表している様子

